

令和 4 年度 指定管理者モニタリング年度評価表

施設名	徳島市立考古資料館	
指定管理者名	公益社団法人徳島市シルバー人材センター	
評価期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日 (1 年目)	
評価者	指定管理者	徳島市立考古資料館 館長
	教育委員会	社会教育課 管理係 主事

1 目標の達成度についての評価

別紙のとおり

2 仕様書等に定める管理運営水準についての評価

評価項目		指定管理者 評価	教育委員会 評価
(1) 適正な管理運営			
管理運営 体制	人員の配置及び職員体制は適正か。	A	A
	職員の能力向上に向けた取組など人材育成は行われているか。	A	A
	労働基準法など関係法令に従って職員の労働管理は適正に行われているか。	A	A
利用料金	利用料金の管理及びその徴収、減免に係る手続き等は適正に行われているか。	A	A
情報管理	個人情報及び業務上知り得た機密事項を適正に管理する取組はできているか。	A	A
	著作権法等を遵守し、資料の無断転載の防止は徹底できているか。	A	A
危機管理	利用者の安全対策(事故防止等)及び危機管理は適切に行われているか。	A	A
環境配慮	省エネルギー等環境への配慮は十分になされているか。	A	A
指定管理者 の責務	法令・協定書等を遵守しているか。	A	A
	申請、届出など必要な手続きを、適切な時期に適正に行っているか。	A	A
(2) 事業計画の達成、サービスの水準			
運営業務	施設の設置目的、運営の基本方針に沿って適切に運営されているか。	A	A
	仕様書、事業計画の水準を満たした施設の運営が行われているか。	A	A
	提案事業・自主事業を計画どおり効果的に行っているか。	A	A
	考古資料館の施設・設備を有効に活用できているか。	A	A
	地域・関係機関・ボランティアなど外部団体との連携は推進されているか。	A	A
管理業務	施設・設備等の保守・検査を適正に行い、安全性・快適性を確保できているか。	A	A
	清掃・植栽管理等を適正に行い、衛生的で美しい環境を維持しているか。	A	A
	資料の良好な維持管理及び特別利用の承諾は適正にできているか。	A	A
	文書・備品等を適正に管理しているか。	A	A
利用者対応	利用者の意見を取り入れる取組や苦情等の対応は適切に行われているか。	A	A
	利用者に対する接遇及び相談業務は適切に行われているか。	A	A
利用促進	利用促進のための取組を十分に行っているか。	A	A
	ホームページ・パンフレットなど情報発信を積極的に行っているか。	A	A
(3) 収支等			
経理	仕様書等に沿って経理処理を適正に行っているか。	A	A
収支	収支の状況に不適切な点はないか。	A	A
経費節減	収入増加又は経費の抑制等が図られているか。	A	A

(4) その他			
今後の課題等	<p>四国電力(株)は、ウクライナ危機や円安を背景とした燃料価格の高騰等に伴う収支悪化を受け、高圧・業務用電力における契約期間中での燃料調整額の上限廃止に既に取り組んでいるが、令和5年4月1日からは卸電力市場価格の高騰による電力調達コストの増加及び託送料金の見直しを反映・加味した新料金とすることを公表している。また一方日本銀行調査統計局は、国内企業物価指数(2022年平均速報)において、企業間で取引される様々な品目において価格が上昇したこと公表している。</p> <p>このように令和5年度においては、大幅な電力料金の上昇のほか、様々な分野における資材単価や製品単価等の高騰が明らかになってきており、このままでは当該年度の事業計画の執行にも大きな支障が生じるため、これを解決するための方策ついて、早急に社会教育課との協議を進めたいと考えている。</p>		
評価項目		指定管理者 評価	教育委員会 評価
(5) 総合評価			
指定管理者	<p>夏場には、猛暑による熱中症に強い警戒を要する中、新型コロナウイルス流行「第7波」が加速し、とくしまアラートの警戒レベルが1から2に引き上げられたほか、11月には落ち着いていた感染状況が再拡大傾向となり「第8波」入りとの見解も示された。</p> <p>このような中、当館事業の進行を図るにあたっては、新型コロナウイルス感染症対策本部の「イベント開催等について」に基づいた安心・安全に十分配慮した管理運営が常に求められた状況であったが、当館職員一同の粘り強い努力により無事何とか年度末を迎えることができ、危機管理を行う上での良い経験となった一年と考えている。</p>		
教育委員会	<p>全ての評価項目について、概ね仕様書等に沿った管理運営水準を達成できた。今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響があったものの、状況に応じて対策を講じるなど、適切な管理運営を行うことができた。</p> <p>管理業務の観点では、今年度から展示室内と収蔵庫に温湿度記録計を設置し、毎月観測したデータを保存・回収していくなど、資料の適切な管理を行うことができていた。</p> <p>来年度も引き続き適切な管理運営に努めるとともに、今年度の経験を活かした取組に期待したい。</p>		
総合評価		A	A

【評価基準】

- S:仕様書、事業計画の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A:仕様書、事業計画の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B:仕様書、事業計画の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C:仕様書、事業計画の基準を遵守できていない又はその水準を下回る内容である。

令和4年度 徳島市立考古資料館指定管理における 目標の達成度についての評価

1 施設の概要

- (1) 施設名 徳島市立考古資料館
- (2) 所在地 徳島市国府町西矢野10番地の1
- (3) 設置目的 市民の教育、学術及び文化の創造と発展に寄与するため。
- (4) 開館年月日 平成10年11月24日
- (5) 延床面積 約803m²

2 指定管理者の概要

- (1) 団体名 公益社団法人徳島市シルバー人材センター
- (2) 所在地 徳島市佐古四番町12番10号
- (3) 指定期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)
- (4) 指定管理者が行う業務の内容
 - ① 考古資料館事業に関する業務
 - ② 考古資料館の研修室等の利用及び考古資料館資料の特別利用の承諾に関する業務
 - ③ 考古資料館の維持管理に関する業務
 - ④ その他教育委員会が必要と認める業務

3 評価結果

1 目標の達成度				
評価項目	目標値	単位	備考	実績・評価
基本目標(多くの人に利用される施設づくり) 利用者にとって、より便利で快適な考古資料館とし、多くの人に利用される施設を目指します。				
入館者数	7,200	人/年	毎月600人×12ヶ月、展示室利用者数を重視	9,851
企画展示の満足度(平均)	80	%/年	アンケート結果による	89.8
参考指標 所見	<p>「入館者数」については、新型コロナウイルスの影響があったものの、対策を実施して開館を続けることで、目標値を大きく上回る実績を残すことができた。入館者が多くなる時期に合わせて常設展示解説会などを開催したことも大きい。今後も引き続き、考古資料館に来てもらえる工夫を続けていきたい。</p> <p>「企画展示の満足度」については、目標値を上回る実績を残すことができた。アンケート結果からも、展示内容等について概ね高い評価を得られていた。特別企画展では横穴式石室を取り上げ、来館した方の口コミで県外からの来館者も促せたことは評価したい。</p>			S
個別目標①(市民が親しむ開放的な施設づくり) 市民ニーズを的確に把握することにより、市民が求める事業を企画し、積極的に取り組むことで、考古資料館と市民をつなぎ、市民が親しむ開放的な施設を目指します。				
「考古資料解説会」の参加人数	60	人/年	毎月5人×12ヶ月	113
「とくしま好古楽倶楽部」参加者の満足度(平均)	80	%/年	アンケート結果による	92.0
参考指標 所見	<p>「考古資料解説会」の参加人数については、目標を大きく上回る実績を残すことができた。新規の事業であったが多くの方に参加してもらえた。利用者のニーズを捉えた事業であると思うので、今後も続けていきたい。</p> <p>「好古楽倶楽部参加者の満足度」については、目標値を大きく上回り、高い満足度を得ることができた。新型コロナウイルス対策を取りつつ、ニーズに合った内容のイベントを実施できたことは評価したい。</p>			S

個別目標②(青少年の学びの場として活用する施設づくり)					
郷土の文化財を次世代に継承し、幼少期よりその価値に対する理解を深めるとともに、青少年の豊かな感性の育成に資するために、学校に対する働きかけを強化するなどにより、青少年の学びの場として活用する施設を目指します。					
参考指標	体験学習等の理解度	80	%/年	学校単位(小・中・高校)、アンケート結果による	92.1
	「夏休み子ども好古楽ゼミナール」参加者の理解度	80	%/年	アンケート結果による	100
	所見	それぞれの評価項目において、高い実績を残すことができた。コロナ禍で参加者数は少なかったものの、アンケート結果では理解度も含め、内容についてもそれぞれ高い評価を得ることができていた。			S
個別目標③(事業成果を市民に還元する施設づくり)					
徳島市内に所在する様々な歴史・文化遺産の価値を市民に啓発し、市民が共有するために、市民ボランティアを活用したフィールドワーク等の実施を通じて、事業成果を市民に還元する仕組みを推進する施設を目指します。					
参考指標	「考古資料館講座」参加者の満足度(平均)	80	%/年	アンケート結果による	85.6
	考古資料館ボランティアの延べ参加者数	60	人/年	毎月5人×12ヶ月、活動内容を重視	155
	所見	<p>「考古資料館講座」参加者の満足度については、それぞれの回において多くの参加者を獲得し、目標値を達成することができた。講座の難易度によって満足度に影響があったが、講座内容を企画展のテーマにそろえるなどテーマ選びに工夫が見られ、参加者からより高い満足度を得られことは評価したい。</p> <p>「考古資料館ボランティアの延べ参加者数」については、目標値を大きく上回る実績を残すことができた。イベントの補助だけでなく、調査研究活動にも参加してもらうことで幅広い活動ができるようになってきている。それを活かし、今後の活動に繋げていってもらいたい。</p>			S
利用促進					
参考指標	広報活動①(メディア掲載数)	10	件/年	新聞・テレビ・雑誌等(ケーブルテレビ除く)	15
	広報活動②(チラシ・ポスター等作成数)	10	件/年	1事業につき1件(同一事業で何種類作成しても1件)	15
	ホームページ閲覧数	8,400	回/年	毎月700回×12ヶ月	10,413
	所見	<p>「広報活動①」については、コロナ禍においても着実に事業を実施したことでメディアにも取り上げられ、目標値を達成することができた。</p> <p>「広報活動②」については、目標値を達成することができた。作成したチラシを市内の小中学校等に配布することで、一定の周知に繋がった。</p> <p>「ホームページ閲覧数」については、目標値を大きく超えて達成することができた。しかし、古い情報が残るなど、ホームページの更新に課題が残ったため、対策を考えてもらいたい。</p>			S
2 仕様書等に定める管理運営水準の達成状況					
管理運営水準(適正な管理運営、事業計画の達成・サービスの水準、収支等)					
所見	モニタリング(事業報告・連絡調整会議・実地調査等)を通じ、一部対応・改善すべき点が見られた。			A	
総合点数(100点満点)		95点		総合評価(S~C)	S

【評価基準(1目標の達成度)】

- S:優れた事業や取組が見られ、目標を大きく上回る顕著な成果があった。
- A:仕様書、事業計画のとおり事業を実施し、目標を達成することができた。
- B:仕様書、事業計画のとおり実施したが、目標を達成することができなかった。
- C:仕様書、事業計画のとおり実施できず又は実施したが工夫が見られず、目標を達成できなかった。

【評価基準(2仕様書等に定める管理運営水準の達成状況)】

- S:仕様書等に定める管理運営水準を達成できており、問題は見当たらなかった。
- A:仕様書等に定める管理運営水準について、改善を要する軽微な事項があった。
- B:仕様書等に定める管理運営水準について、改善を要する軽微な事項が多数あった。
- C:仕様書等に定める管理運営水準について、重大な瑕疵があった。(または業務改善に関する通知書を受けた。)

【総合評価】

- S(90点以上):管理運営状況は著しく良好である。今後も継続して同様の取組を推進すること。
- A(75点以上):管理運営状況は概ね良好である。更なる発展のための取組を行うことが望ましい。
- B(60点以上):管理運営状況は水準並みと認められるが不十分な面もある。事業の総括等を行い、改善が必要である。
- C(60点未満):管理運営状況に問題が見られる。問題点を早急に整理し、事業の見直し等を行うこと。